

2015年 錦江町成人式

1月3日に錦江町文化センターにおいて錦江町成人式が開催されました。今年は126名の対象者のうち90名が参加され、新成人を代表して木下優希さん、永田千佳さん、折小野隼人さん、湯ノ谷桃子さんが新成人の主張を述べられました。

永田 千佳（城ヶ崎自治会）



新年あけましておめでとうございます。この大好きな地元で大切な同級生と共に成人式に出席させていただけることを嬉しく思います。今日ここに無事成人式を迎えることができたのも、ひとえに両親をはじめ家族や地域の皆様のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。現在、私は子供の教育に携わる仕事に就くために鹿児島市内の大学で日々勉学に励んでいます。その中でも幼児教育から就学前の子供の発達について学んでいます。私は幼少期の子供たちにとってこの時期が人間形成につながる一番大切な時期であると思います。成人を迎えた今の私が思いやりの心や当たり前のことが当たり前でできる常識のある大人になっているかということに向き合ってみて、やはり幼少期に先生方や家族から教わったことがいかに大切かということを実感しています。

最後に今まで育ててくれた両親やすべての方々の前で成人を迎えられたことを心から感謝するとともに、本当に幸せに思います。この錦江町で共に学んできた仲間をこれからも大切にしていきたいです。そして、常に感謝の気持ちを忘れず、自分の夢を実現するために努力を惜しまず日々励んでいきたいと思っています。

折小野隼人（麓住宅自治会）



本日は、成人を迎えた私たちの門出に対し、このような盛大な成人式を催していただき、誠にありがとうございます。二十年という月日が経つのは本当に早いもので、小学校、中学校、高校と青春を送ってきた学生時代をつい先日のように思い出します。この素晴らしい青春時代が送れたのも、親や友人、地域の人々、そしてなにより錦江町という素晴らしい環境のおかげだと思っています。海や山や川はもちろんのこと、こんなにも人が温かい町は日本でも少ないだろうとつくづく思います。そんな錦江町が大好きで誇りに思います。また、親には言葉では説明できないくらい迷惑をかけました。これからはその倍の恩を返していきます。私は現在、福岡県で航空自衛隊の隊員として勤務しています。正直に言うと、自衛隊だけは行きたくないと思っていました。縛られずに自分のペースで仕事ができることに行こうと思っていました。航空自衛隊に入隊してからの三ヶ月間は訓練も厳しく、やらなければならないことも多く、心も体もかなり追い込まれていました。入隊してからの三ヶ月で数えきれないほど本気で辞めようと思いました。しかし、家族や地元の友達・自衛隊の同期などに支えられ航空自衛隊に誇りを持って勤務しています。今の自分があるのは、親はもちろんのこと、友達、先輩、後輩、今まで出会ってきた全ての人がいたうえであるものだと思います。これからも頑張っていきたいです。

木下 優希（木場自治会）



今日をこの素晴らしい故郷で多くの仲間とともに無事に成人式を迎えることができ、非常に感激しております。この成人式を迎えるにあたって、家族、先生、友人、今まで支えてくださったすべての人に感謝し、この場をかりてお礼を申し上げたいと思います。思えば私は、生まれて18年間、錦江町で過ごしてきました。雄大な自然、そしてその自然に負けないくらい愛を持った人々に囲まれ成長してきました。特に、錦江中学校で共に過ごし、共に笑い、共に泣いた仲間と過ごした日々は私を大きく成長させてくれました。現在、私は熊本大学で情報電気工学科に所属しており、将来は今の情報化社会を担っていくような存在になりたいと思っています。今、私は新成人として喜びを噛みしめるとともに、今後の責任の重大さを痛感しております。私たちのなかには、既に実社会入りして働いている人もいますし、学業を継続している人もいます。しかし、立場の違いはあれ、今日から大人の仲間入りをさせていただくことになり、これからは、自分の言動や行動にさらに責任を持てる大人にならなければなりません。そのことを肝に命じ、常に感謝の気持ちを忘れず、社会という大海原に胸を張って船出していきたいと思っています。

湯ノ谷桃子（山下自治会）



本日こうして錦江町で多くの仲間と立派に成人式を迎えられること、本当に嬉しく思います。この成人式を迎えるにあたり今まで支えてくれた家族、友人、先生方、地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。私は美しく雄大な自然に囲まれたこの素敵なまち、錦江町で18年間過ごしました。朝に響く小鳥のさえずり、耳を澄ませば聞こえる川のせせらぎ、しばらく見入ってしまうような真っ赤な夕日、山で見かける昆虫たちや動物たち、私たちの成長を温かく見守ってくださった地域の方々。いま、錦江町を離れて改めてその素晴らしさに気づかれます。私は鹿屋高校を卒業後、美容師になるため鹿児島県美容専門学校に進学しました。初めて親元を離れ鹿児島市での一人暮らしが始まり朝起きること、洗濯や食事の準備、ただ生活することの大変さを痛感し、親のありがたみを改めて実感しました。私は春から鹿児島市にあるサロンへの就職の内定をいただき、晴れて社会人となります。自分の言動や行動が常に評価され、責任の持てる大人にならなければなりません。社会に出たときに恥じないよう、あいさつや返事、身の回りの整理など、当たり前のことを当たり前でできるようにし、感謝の気持ちを忘れず社会へ羽ばたいていきたいです。私の生まれ育ったまち、錦江町。雄大な自然と温かい人情にあふれるまち。これから先何年何十年も決して変わることはない素晴らしいまちであり続けてほしいです。そしていつかこの錦江町に帰ってきて貢献できるときがきたらそれがこの町への恩返しになるのではないかと思います。